

<p align="center">白～淡黄に花弁の縁がピンク色を呈する大輪バラ新品種候補 「ひたち5号」(仮称)の育成</p>			
<p>[要約] バラ新品種「ひたち5号」は、花弁の縁にピンク色を呈する半高芯咲きの大輪バラで、ほのかに香りを有する。採花本数(収量性)は既存の多収性品種並に多い。花形とボリュームの市場評価が高く、小売り用途に適する。</p>			
茨城県農業総合センター生物工学研究所 〃 園芸研究所	令和7年度	成果区分	普及

1. 背景・ねらい

茨城県の県花であるバラは産出額約3億円で、主要な施設花き品目の一つである。近年、バラ経営では花き需要の低迷や燃料費高騰、さらに全国で生産される品種の画一化により産地間の差別化が困難な状況であり、経営が圧迫されている。そこで、他産地との差別化が可能なオリジナル性を有し、生産性が高いバラ品種を育成する。

2. 成果の内容・特徴

- 1) 「ひたち5号」は令和元年に交配し、得られた実生から選抜した系統である。
- 2) 白～淡黄に花弁の縁がピンク色を呈する複色で、半高芯剣弁咲き大輪で、ほのかな香りを有する系統である(写真1)。
- 3) 採花本数(収量性)は「サムライ⁰⁸」と比較して多く、「アヴァランチェ+」(多収性品種)と同等である(表1)。切花長、切花重、花蕾長及び茎径は「アヴァランチェ+」と同程度であり、花首長がやや長い。
- 4) 日持ち日数は7.6日と普通である(データ略)。
- 5) 県内市場関係者からは、花色、花形・ボリューム、商品性共に評価が高い(表2)。用途としては、ブライダル、会場装花、ギフト・アレンジ、小売りと幅広い用途に適する。
- 6) 東京都中央卸売市場の市場関係者からは、花形・ボリュームの評価が優れる(表2)。複色はやや使いにくいとされ、適用用途は小売りが多い。
- 7) 現地適応性検定試験(5経営体)は、大輪のため花のボリューム、花と茎葉のバランスの評価が優れている(表3)。商品性は、ほとんどの経営体で極良又は良と高評価を得ている。生産者が新品種導入の際に重要視する病虫害発生、花色、花形や商品性は、普通以上の評価を得ている。
- 8) 導入希望を、本系統の試験栽培を行った5経営体に聞き取りした結果、3経営体で導入による試作および販売の希望がある(データ略)。本格生産される際には、1経営体当たり500株程度が見込まれる。

3. 成果の活用面・留意点

- 1) 定植初年度に約1割の切り花で花首が曲がることある。
 - 2) 覆輪のピンク色の発色にバラツキが生じることがある。
 - 3) 普及対象：県内全域、普及目標：出荷本数5.5万本(現地試験における導入希望者3名+それ以外の生産者1名の計4経営体で本格生産される想定)
- (参考) 他県育成の愛知1号(赤)は出荷本数30万本、愛知2号(白)は10万本を目標

4. 具体的データ



写真1 「ひたち5号」の花姿

表1 「ひたち5号」の特性 (R7)

系統・品種	花色等	採花本数 (本/株)	切花長 (cm)	切花重 (g)	花蕾長 (cm)	花首長 (cm)	節数 (節)	茎径 (cm)
ひたち5号	白～淡黄・縁ピンク	10.7	64.9	45.0	5.1	10.1	12.2	0.62
アヴァランチェ+	白	9.2	62.8	43.8	5.1	8.9	13.2	0.60
サムライ08	赤	6.4	78.6	60.5	5.4	8.7	16.8	0.72

- 1) 65型プランターに5株定植、15株/区 反復なし、少量培地耕・アーチング仕立て。定植2年目の株を供試した。
- 2) 2024年10月1日に同化専用枝を3本/株に揃え、採花枝を除去した。採花期間は2024/11/1～2025/4/30。
切花長40cm以上を採花、採花位置は採花枝基部。
- 3) 切り前は花芯がわずかにほだけ始めた時期。値は平均値を示す。茎径は採花枝基部1cmの位置。

表2 「ひたち5号」の市場性評価 (R6,7)

		県内市場 関係者	中央卸売 市場関係者
↑	花色 ※1	4.5	3.9
↑	花形・ボリューム	4.7	4.6
↓	商品性	4.3	3.8
↑	ブライダル(ブーケ等)	10	4
↑	会場装花	10	3
↑	ギフト・アレンジ	12	4
↓	※ 小売り	11	7
2	延べ回答数	43	18

*1 評価値(5:良、3:普通、1:劣)の平均値
*2 回答数

表3 「ひたち5号」の現地適応性評価 (R7)

評価項目	評価 基準	A経営体	B経営体	C経営体	D経営体	E経営体
収量性	1)	少	普通	多	普通	多
作りやすさ	2)	良	普通	普通	良	良
病害の発生	3)	少	普通	少	普通	少
虫害の発生	3)	普通	普通	普通	普通	少
切り花長	2)	普通	普通	良	普通	良
花色	2)	良	良	普通	普通	普通
花形	2)	良	普通	良	普通	良
花のボリューム	2)	良	普通	良	良	良
香り	4)	-	弱香	弱香	弱香	強香
花と茎葉のバランス	2)	良	良	良	良	劣
日持ち性	2)	良	普通	普通	普通	良
商品性	2)	極良	良	良	普通	良
総合評価	2)	普通	普通	良	普通	良
品種化要望	5)	有	無	有	有	有
導入希望	5)	有(600株程度)	無	有(600株程度)	有(500株程度)	無
導入の際に 重要視する形質		病害発生 収量性 商品性	見た目 日持ち・輸送性 香り	収量性 商品性	花形(大輪性) 収量性	収量性 病害発生 花と茎葉のバランス

その他意見
(A経営体)類似品種があり、複色の発色が安定しないと良くない
(C経営体)色ムラはあり、首曲がりはない、今年は灰かび病の発生は見られず
(E経営体)茎が柔らかい

(試験概要)期間:2023年5月～2024年12月(E経営体のみ2024年5月～2024年12月)。5cmロックウールキューブの挿し木苗。養成・栽培管理は農家慣行。評価は期間中の採花枝を用いて選択式アンケートにより絶対評価、導入の際に重要視する形質は聞き取りした。評価が優れる項目は網掛け、劣る項目は塗りつぶしとし、各経営体において導入の際に重要視する形質は黒枠で示した。

- 1) 極多・多・普通・少・極少の5段階評価
- 2) 極良・良・普通・劣・極劣の5段階評価
- 3) 無・少・普通・多・甚の5段階評価
- 4) 強香・弱香・無の3段階評価
- 5) 有・無の2段階評価

5. 試験課題名・試験期間

・担当研究室
新品種育成普及促進事業
平成30年度～
生物学研究所
果樹・花き育種研究室
園芸研究所 花き研究室